

【氏 名】月岡 道晴（ツキカ ミチル）

【職 名】教授

【学 位】修士（文学）

【生年月日】昭和 50 年（1975）2 月

【本学就任】平成 16 年（2004）5 月

【略 歴】國學院大學大学院文学研究科日本文学専攻博士課程後期単位取得満期退学

【専門分野】萬葉集研究

【担当科目】国文総論（オムニバス形式）、国文基礎演習、卒業論文 I・II、伝承文学概説 I・II、
日本文学講読 A、国語学講読 A・B、文芸創作展開 C

【所属学会】上代文学会理事、美夫君志会理事、萬葉学会会員、古代文学会会員、日本文学協会会員

【研究テーマ】柿本人麻呂の作品研究、上代日本文学における文字表現の研究、古代文学における付属語の研究

【研究業績】

【最近 5 年間の主な研究業績】 [令和元年度～令和 5 年度（5 点まで）]				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	日本書紀の構成と仁徳紀の易名記事	國學院雑誌 120 巻 11 号	令和元年 11 月
論文	単著	学界の動向・上代韻文「テキストとしての『萬葉集』／テキストからの万葉歌」	文学・語学 229 号	令和 2 年 9 月
論文	単著	万葉歌における来歴表現について—贈物歌の形式を中心に—	萬葉集研究第 41 集	令和 4 年 2 月
論文	単著	萬葉集卷十三は替え歌歌集か—類歌性や無名性、歌の分離接合などから—	萬葉集研究第 42 集	令和 5 年 3 月
論文	単著	万葉歌の表記における訓仮名の位相—一人麻呂歌集を中心に—	古代文学 63 号	令和 6 年 3 月

【平成 30 年度以前の主な研究業績】（5 点まで）				
種 類	区 分	著書・論文名等	掲載誌・発行所等	発行年月
論文	単著	夢に姿を見る—一人麻呂歌集卷十・二二四一歌の訓みをめぐって—	國學院雑誌 115 巻 10 号	平成 26 年 10 月
論文	単著	近江荒都歌の構造と視点—「いかさまに思ほしめせか」と「諾しこそ」—	美夫君志 91 号	平成 27 年 11 月
論文	単著	梓弓と真弓—久米禪師と石川郎女との問答歌—	国語と国文学 93 巻 11 号	平成 28 年 11 月
論文	単著	「不知代経浪乃去邊白不母」—宇治河邊作歌から見る人麻呂の表記態度について—	上代文学 118 号	平成 29 年 4 月
論文	単著	選択的表現としての万葉集の仮名遣い	古代文学 57 号	平成 30 年 3 月

【最近の社会的活動】

日本歌人クラブ北海道ブロック長（令和3～現在）

北海道新聞「新・北のうた暦」連載（月2～3回、平29.3～現在）

北海道新聞「月岡道晴先生の記紀万葉よもやま話①～⑦」（令和2年9月9日、10月14日、11月11日、12月9日、令和3年1月13日、2月10日、3月10日）

日本現代詩歌文学館振興会評議員（平成29.3～現在）